

編集委員会

顧問	大島 良雄	千田 富義*	奥川 幸子	椿原 彰夫	藤田 良範
大島 文一郎	千野 直一	落合 芙美子	寺山 久美子	本門 哲三	田由久
河邨 重春	永田 雅章*	加倉井 周一	土肥 信之	正井 亮輔	井行生
五味 直一	蜂須賀 研二*	河野 康徳	中村 耕三	松井 一	丸山 一郎
津山 直一	万歳 登茂子*	児玉 和夫	中村 隆一	眞野 和也	水落 一
委員	横山 巖	近藤 徹志	奈良 勲	丸山 和也	村上 信男
明石 謙	(* 編集幹事)	澤村 誠志	二木 立	水落 一	村田 英夫
伊藤 利之*	同人	高松 鶴吉	野島 元雄	村上 信男	渡辺 淑子
上田 敏	安藤 徳彦	竹内 孝仁	野村 泰弘	綿森 淑子	(五十音順)
大井 淑雄	伊勢 眞樹	武智 秀夫	初山 孝		
大橋 正洋*	一番ヶ瀬 康子	田澤 英二	原田 道隆		
緒方 甫	江口 壽榮夫	田中 信行	藤井 克徳		
木村 彰男*	大川 弥生				

編集後記

・薬の使い方についてはいろいろな観点から研究がされていますが、最近では社会医学的、医療経済学的なものが多いようです。pharmacologyに裏付けされた薬の使い方も、医療の現場までくると必ずしも適正には行われていないという批判が、医療費の増大、健保赤字の増大を前にして、各方面から起こっています。今朝（'97/10/20）の新聞には、早期胃癌患者で術後化学療法をやった人とやらなかった人の5年生存率に有意な差がなかったという厚生省委託研究班の報告が載っています。術後化学療法の有効性、功罪については以前から議論がありますが、日本での大規模無作為抽出試験の成績はなく、各施設や医師の個々の判断でなされていることが多いようで、公的に広範囲な治療成績の研究が行われ、それが逐次発表されるような体制があれば、さらに合理的な判断ができるようになるのではないのでしょうか。ところで、障害をもっている人や老人に対する薬の使い方には一般的な使い方以上に気を使うことが多いと思いますが、本号、少々難しいけれど役に立つこと受け合いです。（K）

総合リハビリテーション（第25巻 第11号）

1997年11月10日発行（毎月1回10日発行）

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

定価（本体2,000円＋税）

（配送料92円）

〔1997年、年ぎめ予約購読料 26,800円（税込）
（但し、増大号を含む、送料弊社負担）〕

〒113-91 東京都文京区本郷5-24-3

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5704

（担当：鹿嶋・富永）

販売部直通 (03) 3817-5659・5660

ファクシミリ (03) 3815-7802

振替口座 東京 00170-9-96693番

印刷所 三報社印刷(株) 電話 (03) 3637-0005

広告申込所 (株)東広社 電話 (03) 3409-8803

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo © 1997, Printed in Japan.

・ 本誌に掲載された著作物の複写・転載およびデータベースへの取り込みに関する許諾権は医学書院が保有しています。

〔R〕＜日本複写権センター委託出版物・特別扱い＞

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き、禁じられています。本誌は日本複写権センターの特別委託出版物です。複写される場合は、そのつど事前に日本複写権センター（03-3401-2382）の許諾を得てください。